

## 新潟県立新発田病院の「人生の最終段階における医療（終末期医療）」の基本的な考え方

### 1. 基本方針

新発田病院の医療従事者は、人生の最終段階（終末期）を迎える患者さんおよびその家族に対して適切な説明を行い、十分に話し合い相互理解を深め、患者さん自身の意思を尊重いたします。そして、患者さんおよびご家族の希望に添った適切な医療を提供することに努めます。

### 2. 終末期の定義と終末期医療について

「人生の最終段階」＝「終末期」とは、がんの末期のように、残された時間が数日から長くとも2～3ヶ月と予測される場合、慢性疾患で病状の悪化を繰り返し回復が難しい場合、神経難病や認知症により全身状態が悪化した場合、脳血管疾患の後遺症や老衰など数ヶ月から数年にかけて死を迎える場合、そして救急医療・集中治療における回復困難な場合を含んでいます。なお、どのような状態が患者さんの「終末期」であるかは、医師・看護師等多職種から構成される医療・ケアチームによって慎重に判断される必要があります。また、「終末期医療」において医療・ケアチームは可能な限りの痛みやその他の不快な症状を十分に緩和することを目標とし、患者さんおよび家族の抱える苦痛に対して総合的な医療およびケアを行うことに努めます。

### 3. 終末期医療の在り方について

#### 1) 患者さんの意思が確認できる場合

患者さんの意思（自己決定）を尊重します。その際、患者さんと医療・ケアチームが十分に話し合い、合意の上で、患者さんの希望に添った最善の医療・ケアを提供します。また、患者さんの病状や状態に合わせて、必要に応じて話し合いを行います。なお、患者さんの同意を得て家族にも決定した医療・ケアについて説明いたします。

#### 2) 患者さんの意思が確認できない場合

①家族が患者さんの意思を推定できる場合には、その推定意思を尊重し、十分な相談のうえ患者さんにとって最善の医療・ケアを提供します。

②家族が患者さんの意思を推定できない場合には、患者さんにとって何が最善であるかを家族と医療・ケアチームが十分に話し合い、医療・ケアを提供します。

③患者さんに家族がいない場合および家族が判断を新発田病院の医療・ケアチームに委ねた場合には、同チームが十分な検討を行い、患者さんにとって最善の医療・ケアを提供します。なお、新発田病院の医療・ケアチームで判断がつかない場合には、新発田病院が設置する臨床倫理検討会での検討、助言の元に対応いたします。

#### 3) 死期を早めることを目的とした薬剤の投与は容認しません。

この指針は時代の変遷に応じて、その時に最適と考えるものに改訂していきます。ご不明な点がございましたら、医師や看護師にお声掛けください。

平成 28 年 11 月